


整理 No.	2015-13	労働災害状況調査表					
発生会社 事業所							
災害発生日時	2014年 9月 9日(火)		16時30分	天気 (晴れ)			
災害区分	不休災害 <u>休業災害</u> (休業見込み日数:42日)						
被災者	部門	<u>生産</u> ・技術・営業・管理(事務)		雇用形態	正社員・派遣・契約・その他()		
	年齢	59歳	性別:	<u>男</u> 女	勤続年数 41年 経験年数 41年 ヶ月		
	傷病名	病名 (骨折) 部位(右足)					
	傷病部位	右足くるぶし内側					
災害発生状況	①アルキッド反応タンクR-30のインラインサンプリング装置の スレーナーを洗浄する為、V31希釈槽上部架台に はしごで登り、更にさらにスレーナーがある架台まで はしごで登り、洗浄作業を実施			状況概略(写真orイラスト) 			
	②洗浄作業終了後、V31希釈槽上部架台に降りる際 バランスを崩し滑って架台に転んでしまった その時右足首のくるぶしを打ったが、通常に作業を 続けた						
	③時間経過とともに、足首に腫れと痛みが発症したが 当日は作業を続け、終業後帰宅した						
	④翌日、痛みと腫れ引かない為、病院に行き 骨折が判明した						
	災害の型 ^{※1)}	2				作業の形態: <u>定常</u> 非定常、その他()	
	起因物:	はしご				特記事項:	
原因	1、人的要因(man): 日常的な作業で不安全作業との認識がなかった 洗浄に必要な工具がその場に設置されておらず、手に持ってはしごを移動していた						
	2、物に関する要因(machine): はしごから降りる際、希釈槽上部の傾斜部分に足を下ろす構造になっていた						
	3、環境要因(media): ベテラン作業員が日常的に行っている作業で、G全体に危険作業との認識がなかった						
	4、管理的要因(management): リスクアセスメント活動内でハザード抽出が出来ていなかった						
対策	1、希釈槽上部の滑り易い傾斜部分に直接乗る事が無い様に台(階段)を設置する、 また、踊り場に転落防止柵を設置する						
	2、踊り場付近の整理、整頓を実施し作業スペースを確保する 3、常時使用する専用工具はそれぞれの場所に備え付け、手に持って移動することのないようにする 4、G員について、発生の経緯と対策の実施について教育実施						
備考	対策分類 ^{※2)} : 1-2、1-4、1-6、2-4 類似箇所の抽出: 同型の反応装置、R-10・R-20についても同検討を進める						